



TITLE:

<トピックス>2008 宇治川オープン ラボラトリー公開のアンケート報 告

AUTHOR(S):

吉田, 義則

CITATION:

吉田, 義則. <トピックス>2008 宇治川オープンラボラトリー公開のアンケート報告. 技術室報告 2009, 10: 78-84

ISSUE DATE:

2009-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/233402>

RIGHT:

2008 宇治川オープンラボラトリ公開のアンケート報告

吉田義則

宇治キャンパス公開が10月18日、19日に開催され、技術室は昨年と同様に公開の支援を行いました。キャンパス公開では地震・火山グループ、振動台実験と境界層風洞実験、宇治川オープンラボラトリの公開の支援を行いました。今年度もバスの運行を宇治から宇治川ラボへの移動用に用意されていて、多数の見学者が宇治川オープンラボラトリへ来られました。しかし、多数の方が来ることによって、計画した実験スケジュールどおりに案内出来ない状態が生じて、かなりバタバタしてしまいました。多分、階段歩行およびドア開閉の体験では、参加した多くの人が体験したいためどうしても時間が足りないという事態になってしまいます。来年はこの辺の時間配分を多めにして他の実験は、午前と午後の2回にするとかして調整しなければならないではと思っています。

今回も宇治川オープンラボラトリの見学者にアンケートを実施し、集計しました。皆さんからのアンケートに書かれた貴重なご意見・要望・感想を簡単にまとめてみました。

学年と職業では一般が一番多いのであるが、年齢構成をみると理科離れが最近言われている10代が約20%もいて、最初のころ公開に比べたら人数が増えています。今後、理科に興味を示して貰えれば、少しは社会貢献になっているのではないかと思います。

住まいの地域では、その他の都道府県の方が約30%もいて、かなりキャンパス公開が広く知れわたっているようである。

キャンパス公開に来たのは何回目かの設問では、2回以上の方が1割程度だったので、2回目の参加者が増えるような工夫が必要である。

情報入手先を調べるためキャンパス公開を何で知ったかの設問では、学校での案内、インターネットでの案内、新聞の折り込みチラシおよびその他を含めると50%を占めていたので、宣伝効果はかなりあると思いました。

最後に、実験を担当していただいた先生方を始め、看板取り付けなど会場設営の準備から実験の手伝いをしていただいた技術室の皆様にご心から感謝申し上げます。



浮子を流して流速を測る
(宇治川に何回か流して計測する)



ドア開閉の体験

2008 年 宇治川オープンラボラトリー アンケート集計

アンケート回収：163 枚

1 学校・一般

中学生	高校生	大学生	大学院生	一般	その他
5	11	9	7	99	32

2 お住まいの地域

伏見区	宇治市	京都市	京都府下	その他の 都道府県
29	46	25	16	46

3 性別・年代

男性	女性
86	53

10 代以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上
6	32	26	25	38	18	16

4 交通手段

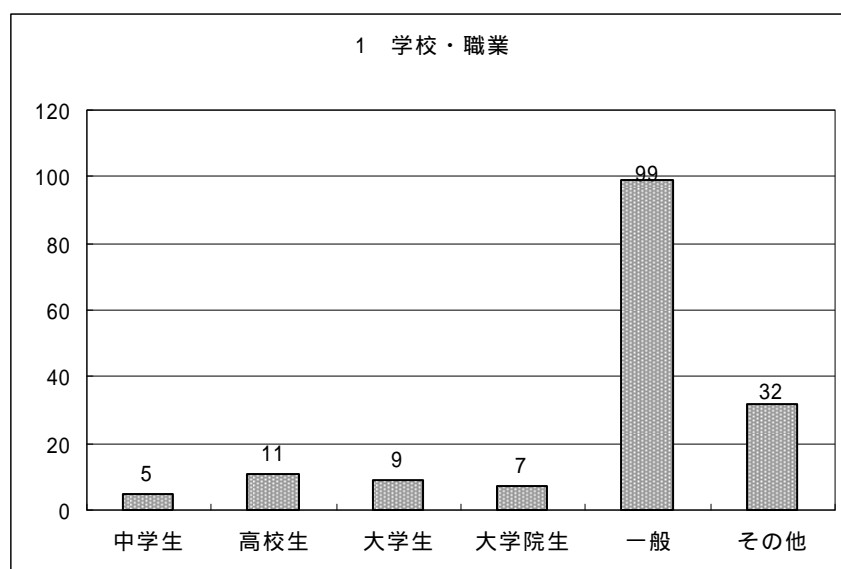
項 目		人数	備 考
1	シャトルバス	48	
2	自動車・タクシー	37	
3	自転車・バイク	18	
4	徒歩	38	
5	その他	16	電車

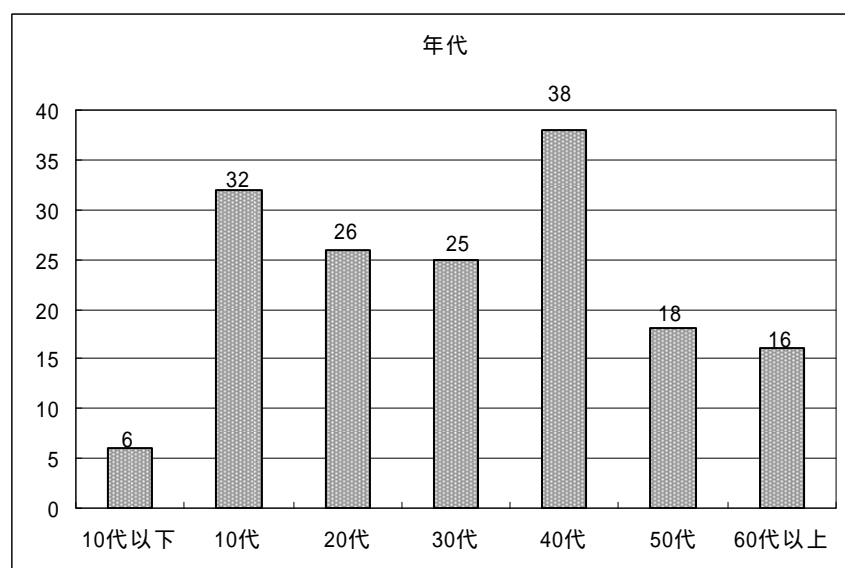
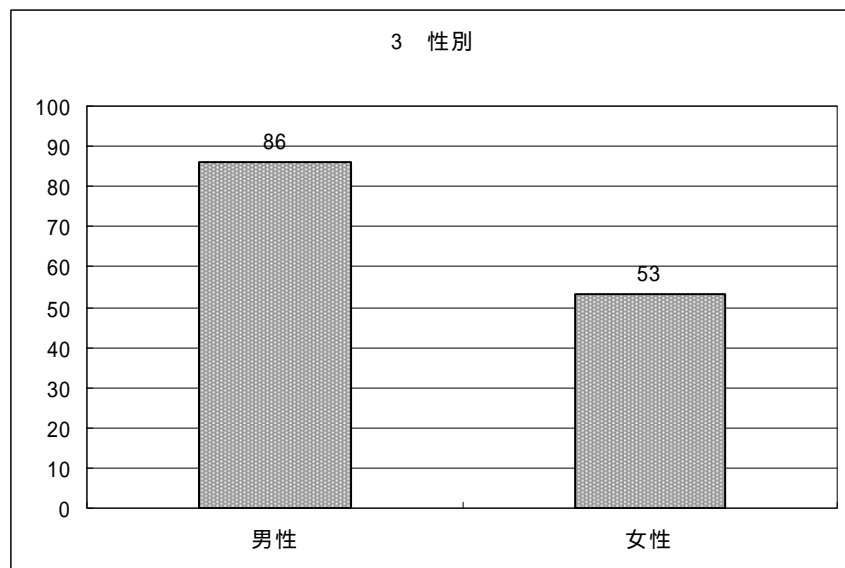
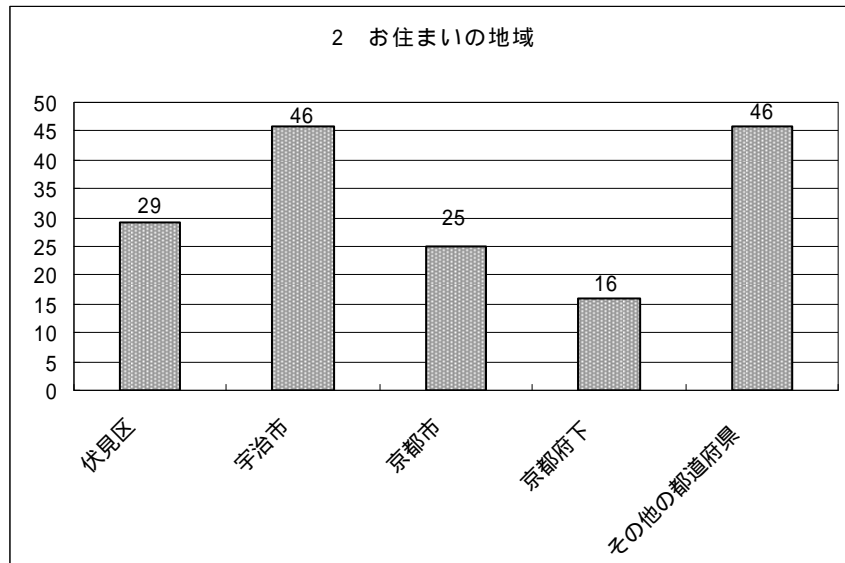
5 キャンパス公開に来たのは何回目か

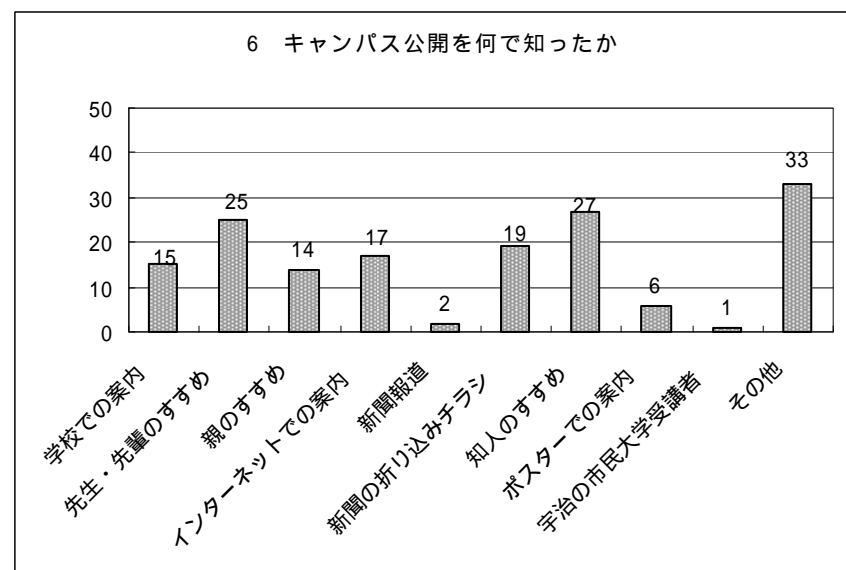
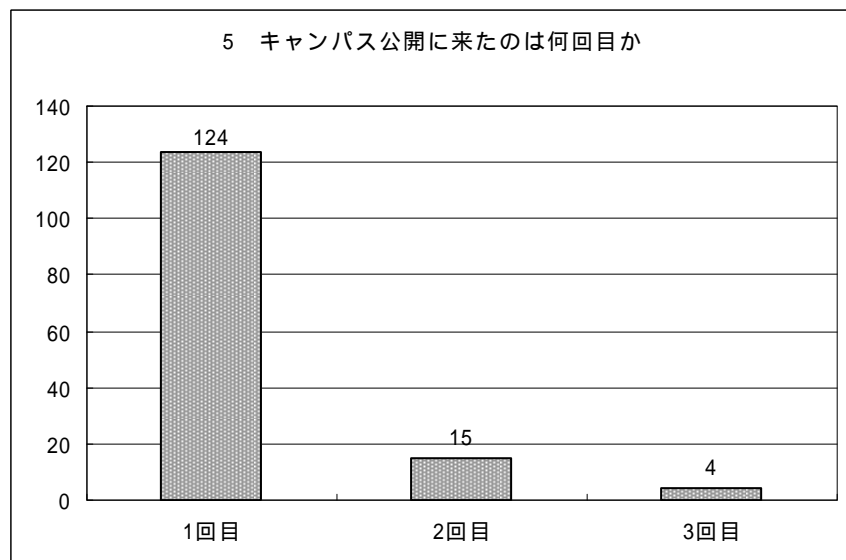
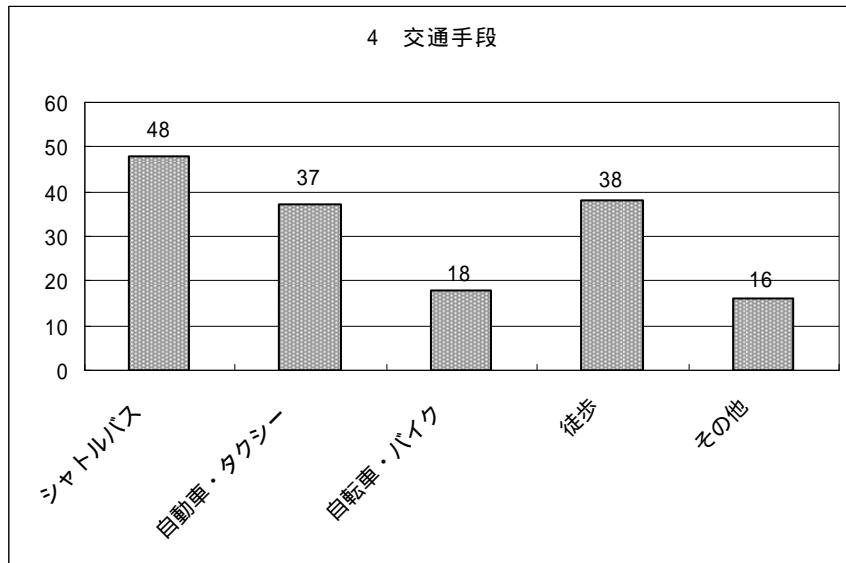
1 回目	2 回目	3 回目
124	15	4

6 キャンパス公開を何で知ったか（複数回答あり）

項 目		人数	備 考
1	学校での案内	15	
2	先生・先輩のすすめ	25	
3	親のすすめ	14	
4	インターネットでの案内	17	
5	新聞報道	2	京都新聞
6	新聞の折り込みチラシ	18	
7	知人のすすめ	27	
8	ポスターでの案内	6	
9	宇治の市民大学受講者	1	
10	その他	32	サイエンスクラブ・会合の勉強会・気象予報士会・ＴＶニュース・ヒューマンスクール・専門学校での案内・ＮＨＫテレビ・小林先生・京大時計台でパンフレット・京大学生の案内・教員の家族・研究所内 等







7 意見・要望

- ・ここで見ることができない設備ばかりだったので面白かった。
- ・とても有意義なひとときだった。ここで知ったことを今後の生活の中で役立てたい。
- ・年間の見学日を増やしてもっと多くの人にアピールしてほしい。
- ・楽しかった。
- ・見学者は京都市周辺の人を中心だと思うので、京都市のどこかでという例を作って説明に加えてほしい。
- ・精密・精巧な装置で研究されていることに感動した。
- ・なかなかこんな体験ができないので、良い経験ができた。
- ・流水階段歩行がとても面白かった。
- ・楽しかった。機会があればまた参加したい。
- ・バスの本数をもっと増やして欲しい。
- ・200mmの降雨体験をさせていただきましたが霧雨状態だったので、ん？こんな感じ？で終わってしまった。水圧として傘に当たる感覚が体験できれば面白そうだった。
- ・流水階段歩行の経験・波と津波の違いの説明の2点が特に良かった。
- ・降雨流出の項では雨具貸出をしても良いのでは。
- ・流水階段歩行ではこういう体験を通して防災の意識を高めるのもいいなと思った。
- ・津波のブースで、波の高さは水深が浅く、幅が狭くなるほど高くなると説明を受けたが実際の目で確かめたかった。数々の実験を行われているようですが、実験結果をHPにアップしていただければ参考になる。大変楽しかった。
- ・大変良かった。来年も来たい。
- ・流水階段歩行・浸水ドア開閉はいつ起こるか分からないので良い体験だった。
- ・場内のせいたかあわだちそうが気になった。早く処分を。
- ・実験に時間がかかり、せかされたりするのでもう少し時間に余裕があるとよかった。勉強になった。
- ・浸水開閉ドアが面白かった。
- ・防犯全般の大切さを改めて感じた。
- ・シャトルバスの時間に合わせると3つしか回れなかった。全部見たかった。
- ・シャトルバスの時間が11:00ではなく11:30とか12:30にしてほしかった。11:00の次に13:30と間があいていて体験内容とバスの時間があってなくて全部みれなくて非常に残念だ。
- ・植木の手入れ、桜の害虫、鳶の絡まりに費用をかけてもらいたい。草刈の回数をふやす必要が有る。
- ・災害は身近に起こりうるものなので大変役に立った。
- ・体験して水の力を実感することができた。
- ・降雨流出実験においてどのようなことを研究されているのかを知りたかった。
- ・貴重な体験をありがとうございました。
- ・全体的に面白かった。
- ・宇治川オープンラボのみで年2回ほど開いてほしい。近隣の小中学校の見学とか。
- ・現代の子供達には、このような実験体験をしておくことが特に必要だと感じた。川底の

土砂をもっと取り除くことにより水害に対して効果があるのではないか。話が聞きたかった。

- ・津波は昨年と違いよかった。
- ・水害地形見学がよかった。
- ・大変興味深かった。
- ・色々な体験ができて面白かった。「動き易い服装で来て下さい」と事前にパンフレットに書いてあったらよかった。
- ・京都市防災センターでの災害体験より、さらに興味深く充実した時間を過ごせた。
- ・みなさん、親切でいていいので分りやすかった。
- ・いろいろとデモがあり面白かった。
- ・受付が親切でよかった。浸水ドアや流水階段は実生活でもいざと言うとき役立ちそうだった。他もいろいろ興味深く拝見した。
- ・中書島からの徒歩がわかりにくく、そばまで来たが入口に行く道筋がわからない。京阪電車沿いからの入口がないので 15 分では無理だった。トイレが少なく受付近傍にほしい。
- ・規模の大きいのと広大な建物、親切な職員で初秋の一日興味深い日となった。
- ・水の災害はＴＶの映像を観るのみであったが、実際に各種の実験装置を見学し、切実さを感じた。
- ・波・津波の実験が被害の状況が分ると良かった。いまいち恐さが伝わりにくかった。
- ・話し手の人の声が小さく伝わりにくかった。
- ・設備が立派でおもしろい。子供も喜んだ。
- ・途中からの説明になるのでと止められて、待ち時間が長かったので説明が途中になっても良いので進んで行きたかった。
- ・すばらしい。
- ・すごくわかりやすくておもしろかった。説明もわかりやすかった。
- ・普段では体験できないことをいろいろと経験させていただいて楽しかった。また機会があったら友達も連れて来たいと思う。
- ・来年は今年と違ったことも体験できればうれしい。
- ・普段できないことが体験できてとても楽しかった。
- ・災害に関する知識を持つことはとても重要だと思った。
- ・ビル地下室での死亡事故を録画した（H11 年 福岡水害の検証ビデオ）NHK 朝のホットモーニングのビデオを紹介すると良いと思う。（H11 年 7 月 14 日 8：30～9：30）
- ・流水階段歩行が特に楽しかった。
- ・当実験場で昭和 32～34 年 石原安雄教授の下で大阪堺港の委託実験を行っていた。当時手作りの実験装置で現在と比較しようがないがなつかしい。